

2024年3月期

第48期 決算説明資料

東証スタンダード市場：証券コード5217



テクノオーツ株式会社

2024年5月10日

Index

01 2024年3月期 決算概要

02 2025年3月期 業績予想

03 Topics

I n d e x

01 2024年3月期 決算概要

02 2025年3月期 業績予想

03 Topics

1. 連結 単体 経営成績

■ 当期は半導体業界全体が踊り場の局面であったことから
売上高・営業利益ともに前年を下回る

単位：百万円

▶ 連結	2022年3月期 第46期		2023年3月期 第47期		2024年3月期 第48期	
	実績	増減率	実績	増減率	実績	増減率
売上高	15,820	23.7%	20,063	26.8%	17,065	△ 14.9%
営業利益	3,164	29.4%	4,068	28.6%	3,615	△ 11.1%
経常利益	3,231	36.4%	4,354	34.7%	3,838	△ 11.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,200	37.0%	2,957	34.4%	2,729	△ 7.7%

▶ 単体	2022年3月期 第46期		2023年3月期 第47期		2024年3月期 第48期	
	実績	増減率	実績	増減率	実績	増減率
売上高	13,887	21.4%	16,933	21.9%	14,808	△ 12.5%
営業利益	2,243	39.1%	2,886	28.7%	2,669	△ 7.5%
経常利益	2,497	45.6%	3,199	28.1%	3,216	0.5%
当期純利益	1,732	47.7%	2,230	28.8%	2,315	3.8%

2. 連結 実績ハイライト

■ PCやスマホ向け需要の減退によるメモリー在庫滞留が続いていたが緩やかに回復基調

単位：百万円

営業利益率	ROE	売上高達成率	営業利益達成率
21.2%	15.3%	103.4%	104.5%

▲2023/10/31修正の業績予想値16,500百万円に対して

▲2023/10/31修正の業績予想値3,460百万円に対して

生産高	受注高	受注残高
17,040	16,027	6,153

3. 連結 四半期実績推移

■ 四半期毎に緩やかに回復

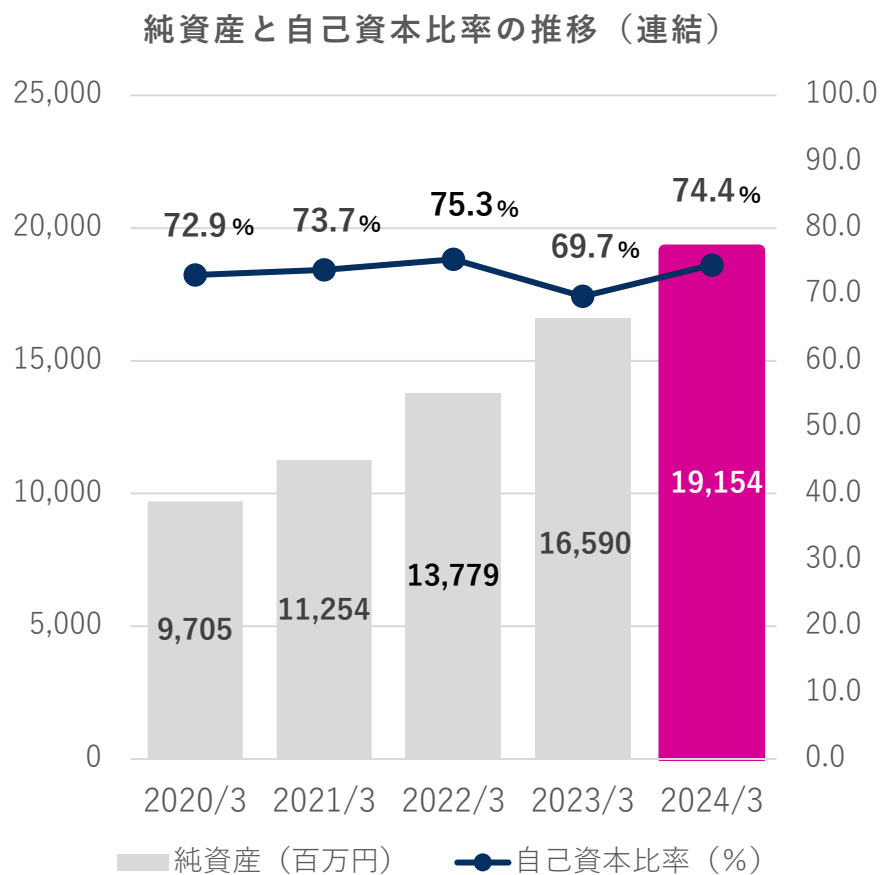
単位：百万円



4. 連結 自己資本比率 B S

■ 純資産、自己資本比率ともに前期を上回る

単位：百万円

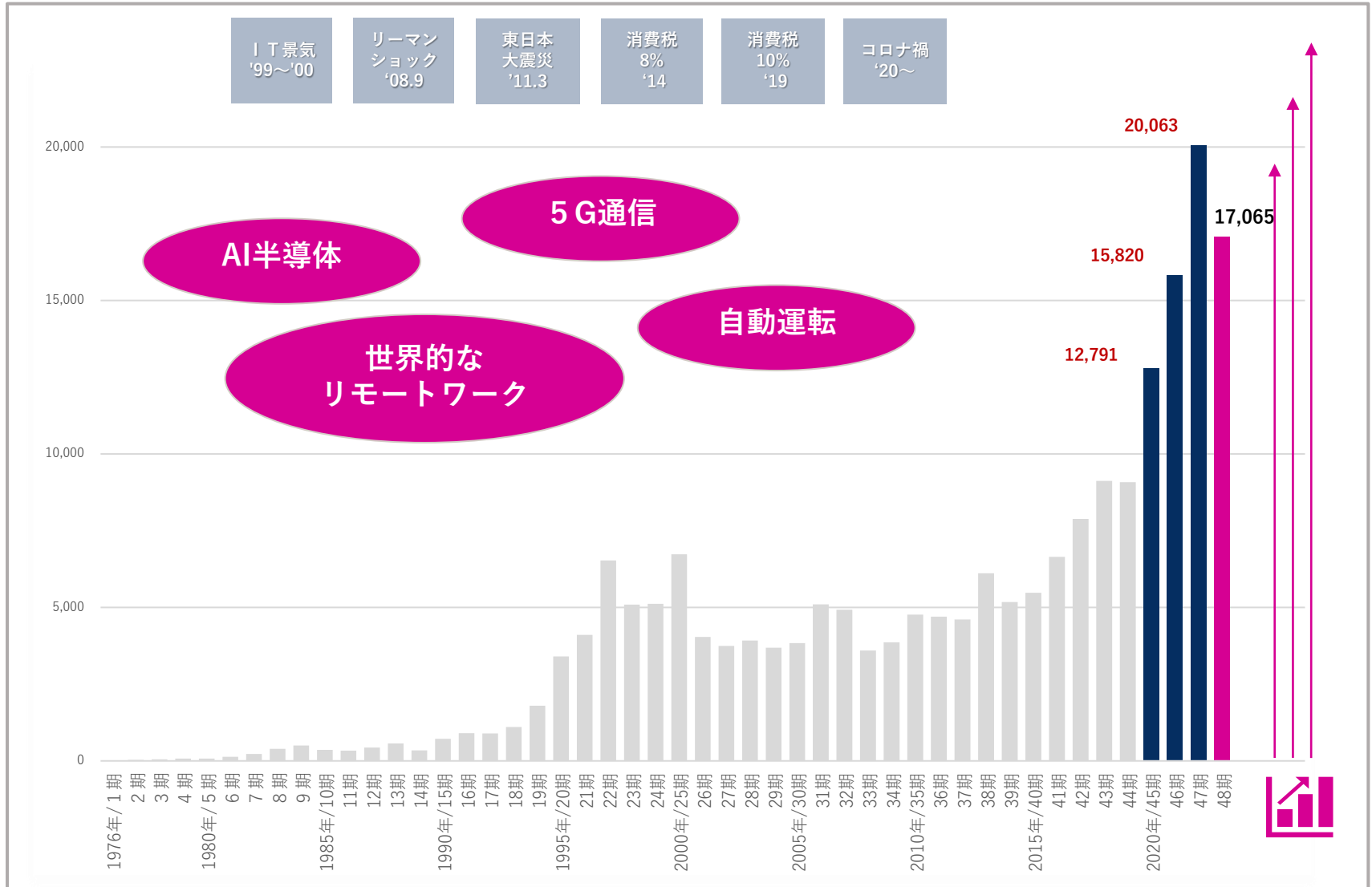


	2023年 3月期	2024年 3月期	前期 増減額
流動資産	14,346	16,078	1,732
(現預金)	3,446	3,994	548
固定資産	9,446	9,675	228
資産合計	23,792	25,753	1,960
流動負債	4,559	4,185	△ 373
固定負債	2,643	2,413	△ 229
負債合計	7,202	6,599	△ 603
純資産	16,590	19,154	2,563
負債・ 純資産合計	23,792	25,753	1,960
自己資本 比率	69.7%	74.4%	4.7pt

5. 連結 売上推移

■ 今後も中長期的に半導体需要拡大のトレンドは継続

単位：百万円

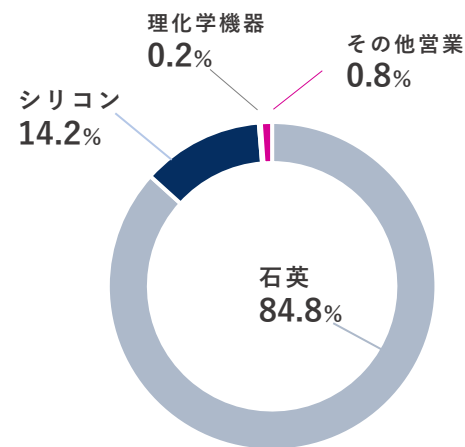
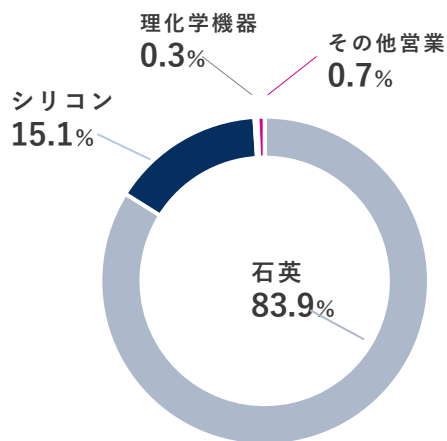


6. 連結 製品別売上高

■ 構成比では石英がやや増加、シリコンがやや減少

単位：百万円

主要製品	2023年3月期 第47期			2024年3月期 第48期		
	売上高	構成比	前期比	売上高	構成比	前期比
石英	16,833	83.9%	117.8%	14,477	84.8%	86.0%
シリコン	3,038	15.1%	228.9%	2,414	14.2%	79.5%
理化学機器 セル GCLC	54	0.3%	91.5%	30	0.2%	55.6%
その他営業	138	0.7%	92.6%	143	0.8%	103.6%
総計	20,063	100%	126.8%	17,065	100%	85.1%



7. 連結 設備投資額・減価償却費

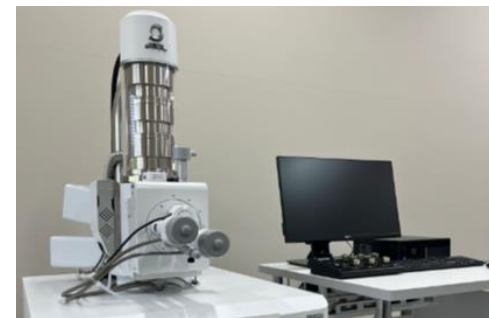
■ 設備投資額・減価償却費の実績 来る需要に備えて未来に向けた設備投資を進める

単位：百万円

	2020年3月期 第44期	2021年3月期 第45期	2022年3月期 第46期	2023年3月期 第47期	2024年3月期 第48期
設備投資額	491	1,156	2,425	2,210	1,185
減価償却費	573	590	608	936	1,152

◆ 2024年3月期 主な設備投資

真空炉
両面研磨機
電子顕微鏡 等

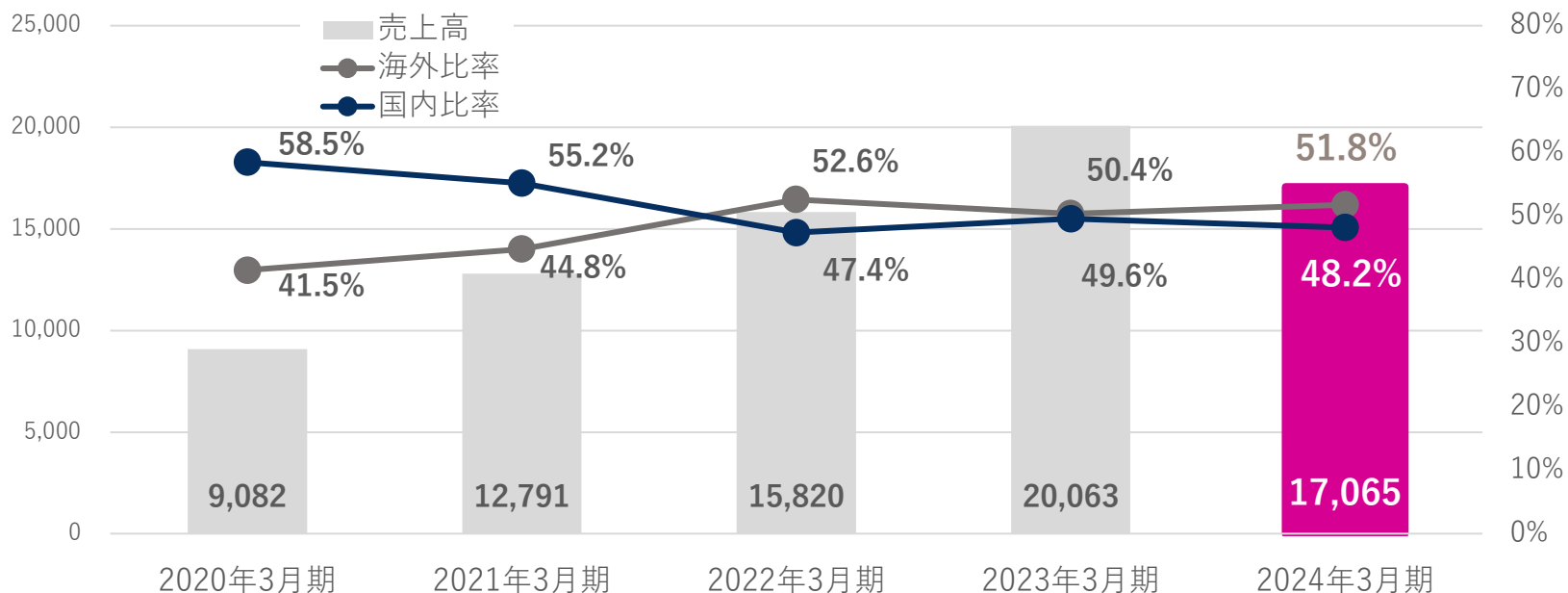


8. 連結 海外売上比率

■ 国内、海外の比率に大幅な変化はなし

単位：百万円

区分	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	第44期		第45期		第46期		第47期		第48期	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	5,317	58.5%	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%	8,227	48.2%
海外	3,765	41.5%	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%	8,837	51.8%
合計	9,082	100%	12,791	100%	15,820	100%	20,063	100%	17,065	100%



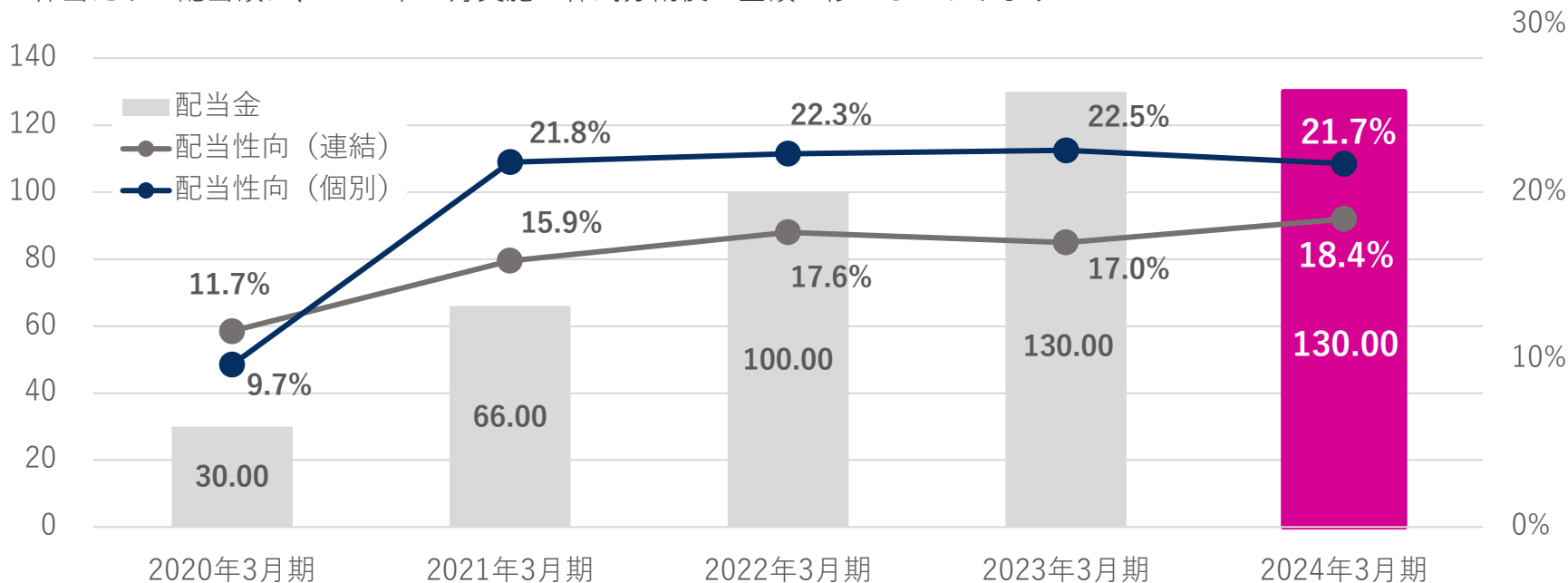
9. 配当金 推移

■ 2024年3月期の期末配当は昨年同額の130円を予定

単位：円

	2020年3月期 第44期	2021年3月期 第45期	2022年3月期 第46期	2023年3月期 第47期	2024年3月期 第48期
1株当たり配当金	30.00	66.00	100.00	130.00	130.00
配当性向(連結)	11.7%	15.9%	17.6%	17.0%	18.4%
配当性向(個別)	9.7%	21.8%	22.3%	22.5%	21.7%

▲ 1株当たりの配当額は、2022年10月実施の株式分割後の金額に修正しております



I n d e x

01 2024年3月期 決算概要

02 2025年3月期 業績予想

03 Topics

10. 半導体市場予測①

■ 2023年の半導体市場は前年比で9.4%減少、2024年は13.1%増加予想

世界の地域別半導体市場予測

単位：億米ドル

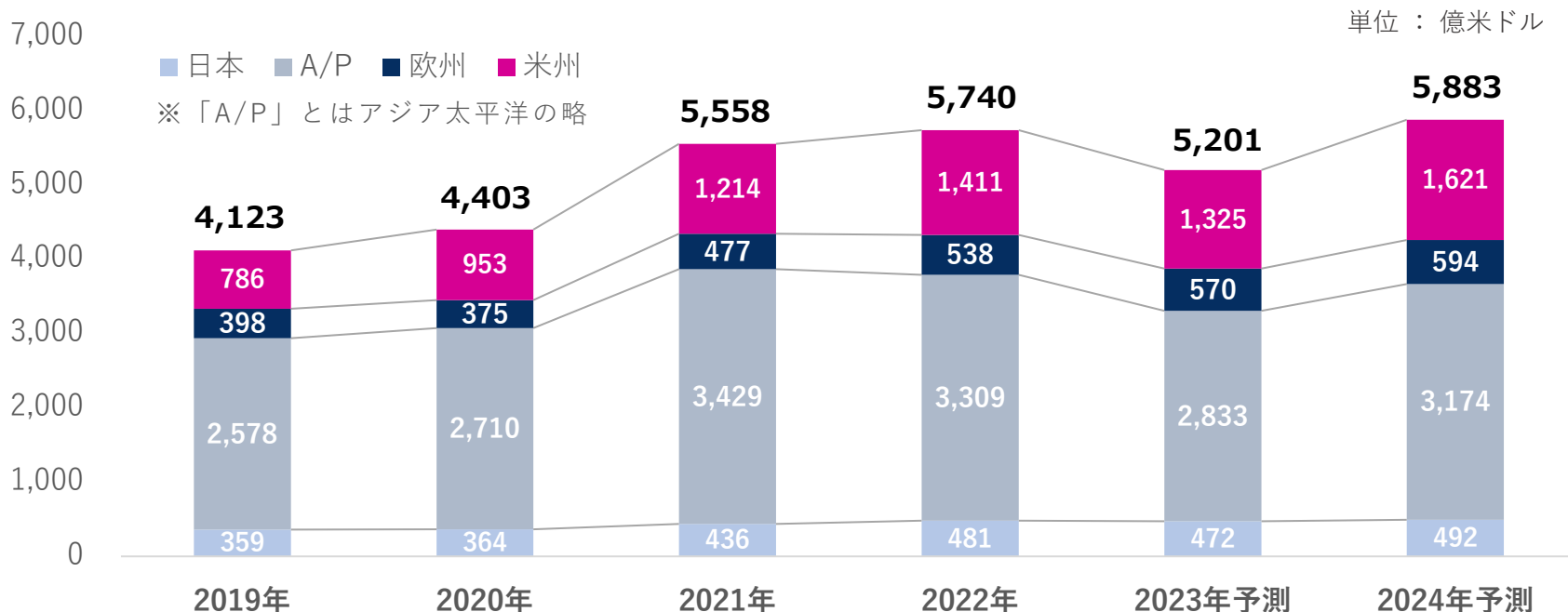
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 予測	2024年 予測
米州	884	1,029	786	953	1,214	1,411	1,325	1,621
欧州	383	429	398	375	477	538	570	594
A/P	2,488	2,828	2,578	2,710	3,429	3,309	2,833	3,174
日本	365	399	359	364	436	481	472	492
合計	4,122	4,687	4,123	4,403	5,558	5,740	5,201	5,883
前年比	121.6%	113.7%	88.0%	106.8%	126.2%	103.3%	90.6%	113.1%

※「A/P」とはアジア太平洋の略

資料：WSTS 2023年秋季半導体市場予測

1.1. 半導体市場予測②

■ 2024年は生成AIの拡大やメモリ市場の回復、パワー半導体の好調持続が市場を牽引



資料：WSTS 2023年秋季半導体市場予測

世界半導体市場について

- ◆ 2022年の半導体市場は前年比伸び率3.3%増、世界的なインフレやそれに伴う利上げ、地政学的リスクの高まりなど個人消費や企業の設備投資等に影響し年途中からメモリーを筆頭に市況が悪化
- ◆ 2023年が前年比伸び率9.4%減、2019年以来4年ぶりのマイナス成長を予測しているが、生成AIの急拡大によってロジックを中心に市場が回復傾向にあり、春季予測よりマイナス幅が縮小する見込み
- ◆ 2024年は前年比伸び率13.1%増、生成AI関連やパワーディスクリートの需要を背景に、市場は再び成長することが予測

■ 市場回復を見据えた計画

単位：百万円

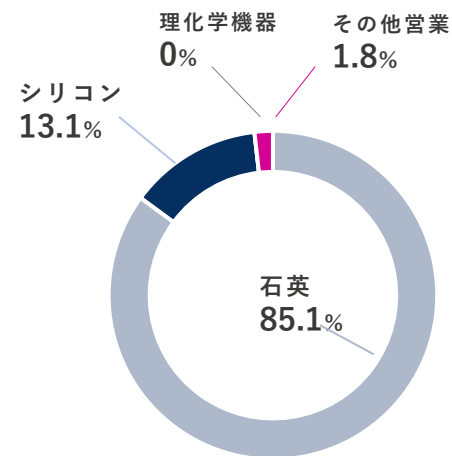
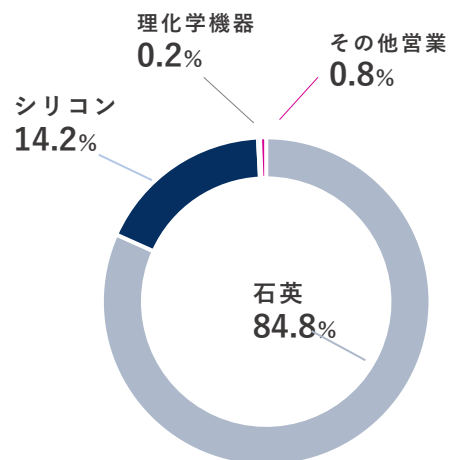
	2024年 3月期	2025年 3月期	増減率 (前期比)	増減額 (前期比)
売上高	17,065	18,000	5.5%	934
営業利益	3,615	3,720	2.9%	104
営業利益率	21.2%	20.7%	-	△ 0.5pt
経常利益	3,838	3,690	△ 3.9%	△ 148
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,729	2,610	△ 4.4%	△ 119

13. 連結 製品別売上高 計画

■ 構成比では石英がやや増加、シリコンがやや減少

単位：百万円

主要製品	2024年3月期 第48期			2025年3月期 第49期		
	売上高	構成比	前期比	売上高	構成比	前期比
石英	14,477	84.8%	86.0%	15,324	85.1%	105.9%
シリコン	2,414	14.2%	79.5%	2,352	13.1%	97.4%
理化学機器 セル GCLC	30	0.2%	55.6%	0	0.0%	-
その他営業	143	0.8%	103.6%	324	1.8%	226.6%
総計	17,065	100%	85.1%	18,000	100%	105.5%

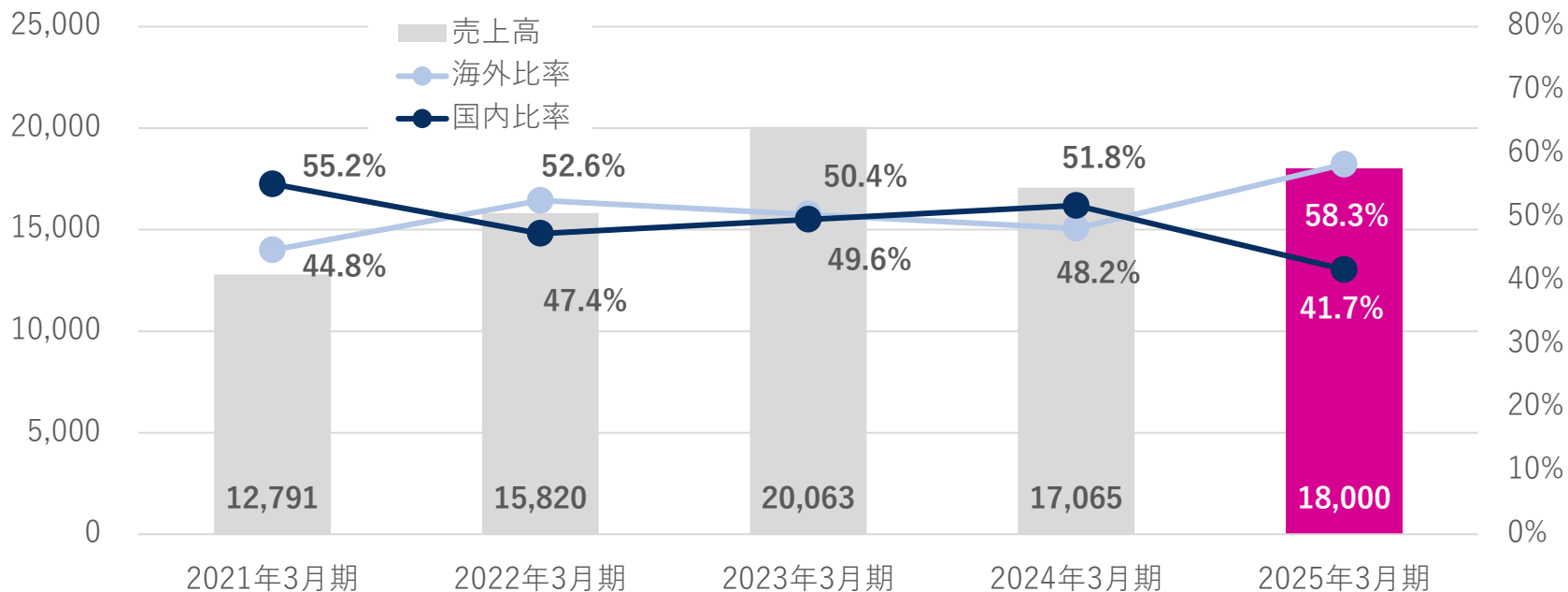


14. 連結 海外売上比率 計画

■ 海外からの売上増加を見込む

単位：百万円

区分	2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	第45期		第46期		第47期		第48期		第49期	
	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率	合計	比率
国内	7,059	55.2%	7,502	47.4%	9,956	49.6%	8,227	48.2%	7,504	41.7%
海外	5,731	44.8%	8,317	52.6%	10,107	50.4%	8,837	51.8%	10,496	58.3%
合計	12,791	100%	15,820	100%	20,063	100%	17,065	100%	18,000	100%



■ 受注環境は回復基調 半導体市場の潜在需要に着実な拡大が見込まれる

1

2024年度の経済環境は、新型コロナウイルスの影響が収まり、経済活動が正常化していく中で、好調な企業業績に裏付けられた所得改善や投資拡大が見込まれ、引き続き緩やかな回復が期待されております。

反面、不安定な国際情勢を背景に世界的な食糧・エネルギー価格の高騰やマイナス金利政策解除等の金融政策による影響など、景気の先行きが不透明な状況となっており、今後を注視していく必要があります。

2

半導体業界におきましては、世界的なりもネットワークの広がりやAI半導体需要の拡大、5G通信や自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加が見込まれることから、今後も半導体不足が想定され、中長期的に半導体需要拡大のトレンドは継続していくものと予想されます。

3

当社グループの受注環境は、市況回復を見据えた各メーカーの先行的な設備投資が前向きな結果となって表れてきており、今年度後半には回復基調に繋がることが期待されております。

また、世界各地で半導体に対する政府補助を伴う計画が進められるなど、今後とも半導体市場は底堅い潜在需要を背景に着実な拡大が見込まれており、当社は今後の中長期的な受注拡大の見通しを変えておりません。

■ 持続可能な成長と競争力の強化を目指す

1	生産能力増強・国内における増産体制構築のための設備投資を順次進めていきます。
2	営業力強化・お取引先との関係強化を図るとともに、高付加価値製品の開発と拡張を行い、石英・シリコン製品の量産品のマーケット拡大を目指します。
3	業務効率化・業務フロー、作業手順等の見直しを進め、業務自動化・効率化等のDXを推進します。
4	経営基盤強化・サステナビリティ強化に資する各種対応を進めるとともに、コーポレートガバナンス強化への対応を行います。
5	人材育成・各種研修の充実、業務マニュアルの作成推進、人事ローテーションの活発化等により、優秀な人材の育成に努めます。

■ 更なる飛躍に向けて未来への種まき

投資
計画

「未来創造プロジェクト」次のフェーズへ
～ 将来の成長に向けた投資計画、新しい生産施設の建設、長期的な
成長と発展を目指す ～

蔵王南工場の隣接地に新工場を建設し火加工のキャパ
シティ増強 (9,023㎡)

アイシンテック隣接地を近日取得予定 (約4,000㎡)
既存工場の横に自動化をメインとした新工場を建設予定
(約5,000㎡：取得済)

投資総額は未定

I n d e x

01 2024年3月期 決算概要

02 2025年3月期 業績予想

03 Topics

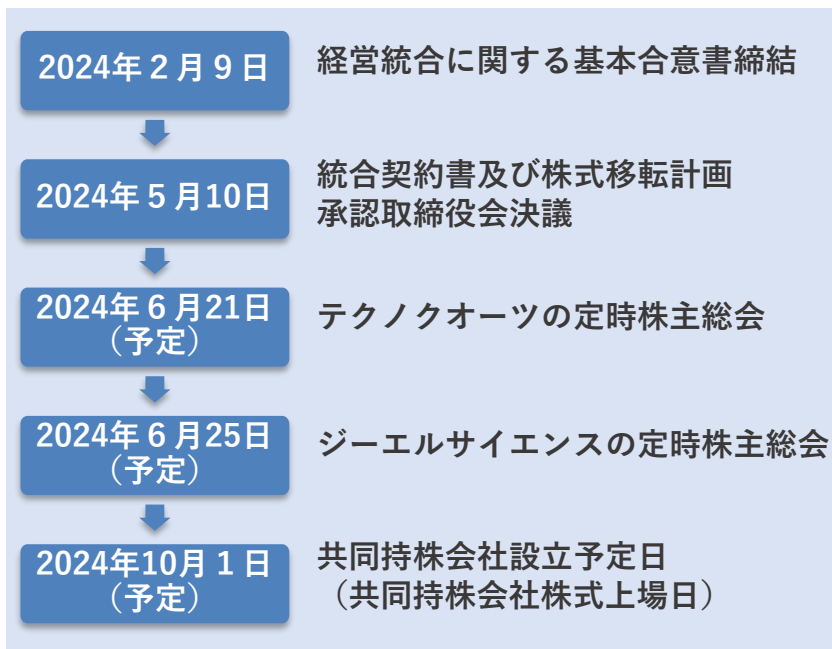
18. ジーエルサイエンスとの経営統合①

■ 更なる飛躍を遂げ、企業価値の向上を目指す

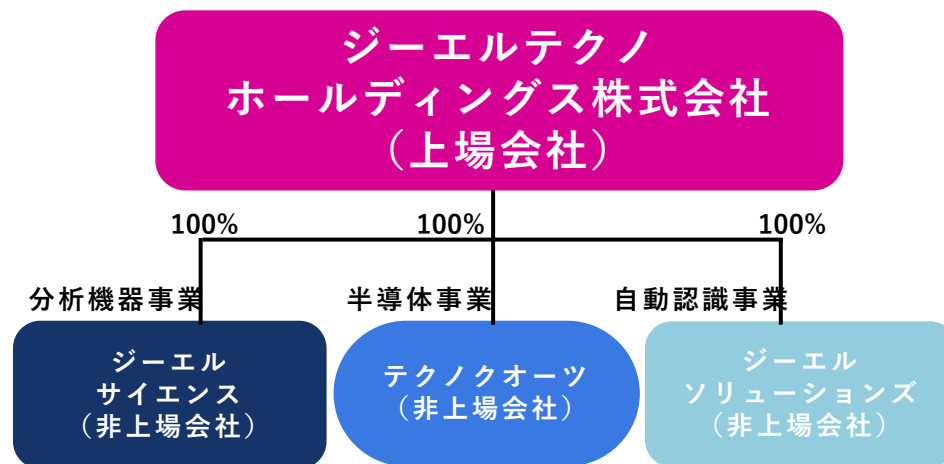
経営統合の概要

統合方法	共同株式移転による経営統合
株式移転比率	ジーエルサイエンス：テクノクーツ = 1：2.10

今後のスケジュール





共同持株会社体制



※ジーエルサイエンス子会社のジーエルソリューションズは10/1以降に共同持株会社直接保有の完全子会社とする予定

■ 経営統合の背景と目的

グループ経営を事業会社から分離することで強固なグループ経営基盤を構築
最適な経営資源配分及び成長機会の捕捉強化により企業価値向上を加速

共通の経営理念		
「社会に対し社会性を十分発揮してその存在価値を高め、社員個々の幸福を勝ち取り、企業の維持、発展をならしめること」		
会社名	 GL Sciences	 テクノオーツ株式会社
業種	分析機器事業	半導体事業
主要製品	ガスクロマトグラフ及び 液体クロマトグラフの装置・消耗品	半導体製造装置用石英ガラス&シリコン製品
業態	製造業（開発・製造・販売）	製造業（開発・製造・販売）
顧客層	多分野に展開(化学,官公庁,環境,製薬など)	半導体製造装置市場向けが主体
仕入先	多様なサプライヤーから供給を受けている	特定の仕入れ先への依存度が高い
特徴	市場のボラティリティは小さく、傾きは 緩やかながらも着実な成長が期待できる 収益基盤は安定していて景気に左右されにくい	投資金額が成長に直結 景気等による影響も受けやすい一方、 今後大きな成長が期待できる

■ 新設する共同持株会社の概要

商号	ジーエルテクノホールディングス株式会社 (英名 : GLTECHNO HOLDINGS, INC.)		
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目22番1号		
機関設計	監査等委員会設置会社		
代表者及び 役員の就任予定	代表取締役社長	長見	善博
	代表取締役副社長	園田	育伸
	取締役	芹澤	修
	社外取締役 (監査等委員)	齋藤	隆広
	社外取締役 (監査等委員)	永沢	裕美子
	社外取締役 (監査等委員)	森田	岳人
資本金	300百万円		
設立予定日	2024年10月1日		
決算期	3月31日		
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場		

■ 経営統合による取り組み

2027年3月期 グループ経営目標

売上高 500億円

経営統合の目的	取り組み	
成長機会の捕捉	グループ経営機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体における経営戦略の立案 ノウハウの一元的な管理・蓄積 インオーガニック成長の追求
	経営資源配分の最適化	<ul style="list-style-type: none"> 成長分野に対する積極的な投資
経営効率の向上	管理機能の集約検討	<ul style="list-style-type: none"> 戦略系業務 全社戦略や資源配分など 管理系業務 総務、経理、財務、IRなど 人事系業務 採用、教育、育成など IT系業務 DX推進、将来システム計画など
意思決定の迅速化	グループ経営の戦略策定と事業執行の分離	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の収益性・経営責任の明確化 各事業の自立化による意思決定機能の迅速化・機動性の向上 子会社で行っている事業の強化

※中期経営計画は2024年9月を目途に公表予定

■ 地元を愛し地元と共に生きる

地元への恩返し
これからもずっと

当社HP ▶



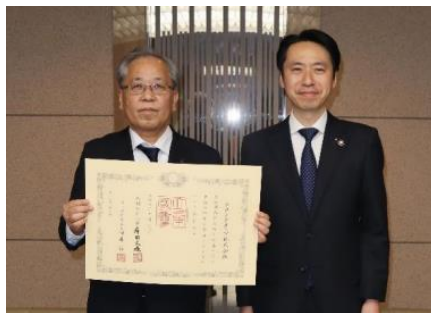
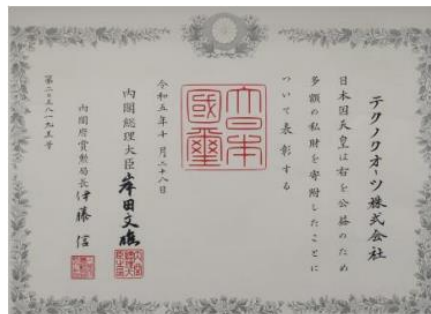
紺綬褒章

長年にわたる貢献と努力が認められた結果として紺綬褒章を受章、2024年年3月4日に佐藤山形市長より褒章および褒状が伝達された

企業版 ふるさと納税

山形県山形市への納税実績

- | | | |
|---------|---------|-----------------|
| ✿ 2020年 | 500万円 | コロナ禍の山形交響楽団活動支援 |
| ✿ 2021年 | 500万円 | Q1プロジェクト推進事業 |
| ✿ 2022年 | 1,000万円 | やまがた秋の芸術祭開催事業、他 |
| ✿ 2023年 | 500万円 | 文化創造都市推進事業 |



当社HP ▶



左：社長園田

右：佐藤山形市長

■ 地元を愛し地元と共に生きる

テクノオーツの歴史は山形からスタート
山形になくてはならない企業を目指す

当社HP ▶



やまがた太陽と森林
の会クレジット売買
契約を締結

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして
企業活動によるCO2排出の削減を行い、国の「J-クレジット制度」
を通して「やまがた太陽と森林（もり）の会クレジット」
売買契約を締結し、山形県の環境保全事業に貢献

「やまがた太陽と森
林の会クレジット」

県民の皆様が設置した再生可能エネルギー設備（太陽光発電設備
又は木質バイオマス燃焼機器）で生み出されたCO2削減効果
を取りまとめ、国のJ-クレジット制度を活用して、その環境価値を
「見える化」するとともに、環境価値の取引により得られる収益
を県内の環境保全事業に活用



山形テレビNEWS映像 ▶



令和5年度「やまがた太陽と森林
の会クレジット」売買契約締結式

左：社長園田 右：吉村山形県知事

■ 地元を愛し地元と共に生きる

企業名の認知活動

山形県を通してSDGs活動に貢献

当社HP ▶



山形放送「ZIP!」

山形放送（YBC）の「ZIP!」にて
毎週木曜日の朝6:56より天気フィラー広告を実施中

山形テレビ 「しあわせのたね。」

3月で山形テレビ（YTS）「ヤマガタSDGsミライラボ」が番組終了し4月からは人をつなぐ未来をつなぐSDGsをテーマにしたテレビ朝日制作「しあわせのたね。」に変更し、引き続き単独スポンサーとして協賛、放送は毎週水曜日 23:10

＊「しあわせのたね。」番組概要＊

2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標「SDGs」。貧困や男女差別、環境問題など、横たわる様々な課題をどう解決していくのか… 理想を実現するためには、ひとりひとりが考え、行動することが重要です。番組では、くらしを未来へ紡ぐ“はじめての一步”を実践している人たちに注目。ありのままの行動、飾らない言葉から気付くこと… 「きっかけは私たちの身近にある」。誰もが実践できて、誰もが笑顔になれる。そのちょっとした一步を踏み出せば、未来は変わるかも…？



石英ガラスが、世界を変える。

テクノクォーツが、その未来を支えている。



▶ 免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承ください。

〒164-0012 東京都中野区本町1 - 32 - 2

ハーモニータワー

TEL : 03 - 5354 - 8171

FAX : 03 - 5354 - 8191

<https://www.techno-q.com/>